

# 学校教育目標

## 豊かな心を持ち 自ら学び たくましく生きる松原の子

- ◎やさしく : 人、もの、自然に感謝する子
- ◎かしこく : 自ら気づき、考え、判断し、行動する子
- ◎げんきよく : あきらめずに、ねばり強くやりきる子

### 目指す学校像

- 児童の『自分から』の活動を引き出し、いきいきと活動し明るく元気で勢いのある学校
- 教職員が目的意識と見通しをもち、学び続ける学校
- ゴール(身につけさせたい力)を明確にした授業実践
- 保護者・地域の信頼に応える、安心・安全な学校

### 学校経営方針 「やりがい」「生きがい」「居がい」のある学校づくりを目指す。

- ☆知・徳・体の調和がとれた児童を育成し、「人間力」を高める。
- ☆児童を理解し、充実した授業や生活指導を行う「教師力」を高める。
- ☆保護者・地域とともに、児童の健やかな成長を目指す「学校力」を高める。

### 令和4年度のキーワード『自分から』

### 本年度の努力点

- 児童一人一人の自分からの活動を引き出し、教師や友達から言われたから活動するのではなく、自ら気づき、主体的に進んで活動する児童を育てる
- 共通理解・共通行動を常に念頭に、実践を進化させる教師集団  
『率先垂範：当たり前のことを当たり前』
- ゴール(身につけさせたい力)を明確にし、主体的・協働的に課題解決を図る授業実践
- 特別支援教育の視点を生かした授業改善(ユニバーサルデザインに基づく授業実践)

### 具体的方策

- ・児童が「自分にはよいところがある」「自分には夢がある」と思えるような場を意図的に設定する。
- ・児童たちから学ぶ姿勢を持ち続け、児童の主体的・協働的学びを大切にし、認め励ます。
- ・教師としての誇りを持ち、お互いに「ありがとう」という感謝の気持ちを持ち、職務に専念する。
- ・日々の教育実践を“負担軽減”の視点で見直し、効率的な業務改善を図る。
- ・ゴール(身につけさせたい力)は何かを明確にし、学級やグループ活動の中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め話し合いながら整理し発表するなどの学習活動を実践する。(積極的・効果的な ICT 機器の活用)
- ・児童一人一人の困り感に寄り添った授業改善を図る。  
[すっきりとした黒板周り 見やすく分かりやすい板書 分かりやすい明確な指示 UD フォントの活用]
- ・困った子は困っている子の視点で児童の支援に努める。